

取扱説明書

セレックスバルブ

M4L3

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用していただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐多様にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の使用の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- 電気配線接続部(裸充電部)に触れると感電する恐れがあります。配線時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。

このたびは **CC** の セレックスバルブ M 4 L 3 シリーズ (プラグインタイプ) を、ご採用いただきましてありがとうございます。

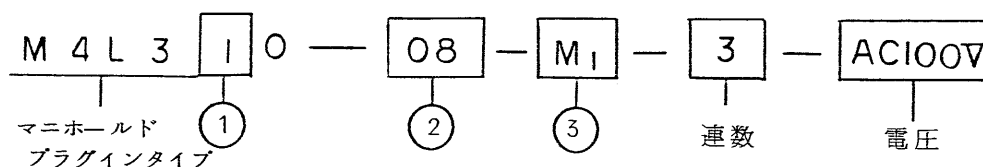
セレックスバルブは、できるだけ多くのお客様に、できるだけ幅広い分野でご使用いただけるように、長年の経験を生し開発された電磁弁です。

CC 製品は、全て厳しい品質管理のもとで製造されていますので、ご安心して使用ください。

CC の製品をより効果的にご使用いただくために、この取扱説明書をご一読ください。

目	次
1. 形 番 の 見 方	----- 2
2. 作 動 原 理	----- 3
3. 使 用 上 の 注 意	
3 - 1. マニホールド使用上の注意	----- 4
3 - 2. 配管時の注意事項	----- 4
3 - 3. 配線時の注意事項	----- 5
4. 保 守 ・ 点 検	
4 - 1. 定期点検	----- 5
4 - 2. 分 解 図	----- 6

1. 形番の見方

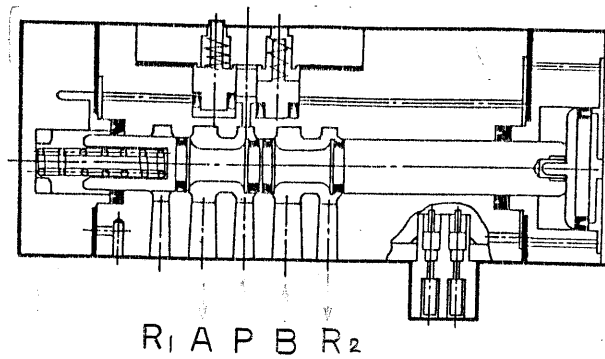


※ 上記形番は、2位置シングルソレノイド電磁弁3連，マニホールドブロック（A・Bポート横配管PT $\frac{1}{4}$ ，P・RポートPT $\frac{1}{2}$ ），手動ロック，定格電圧AC100V。

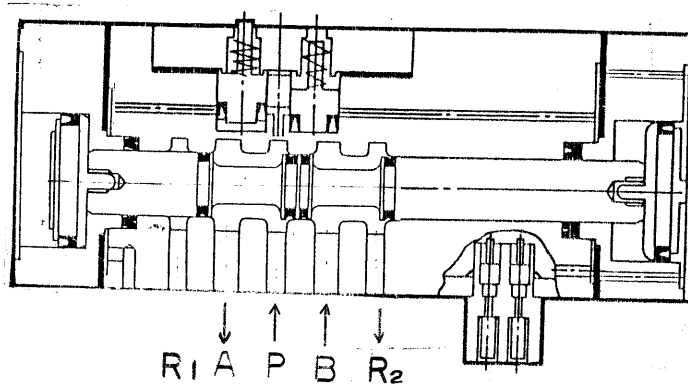
①	切換位置区分	
1	2位置シングル	
2	2 // ダブル	
3	3 // クローズセンタ	
4	3 // エキゾーストセンタ	
8	ミックスマニホールド（2位置・3位置）	
②	接続ポート	
	A・Bポート	P・R ₁ R ₂ ポート
08	PT $\frac{1}{4}$ 横配管	PT $\frac{1}{2}$ 横配管
10	PT $\frac{3}{8}$ //	//
08Y	PT $\frac{1}{4}$ 裏配管	//
10Y	PT $\frac{3}{8}$ //	//
08Z	PT $\frac{1}{4}$ //	PT $\frac{1}{2}$ 裏配管
10Z	PT $\frac{3}{8}$ //	//
③	オプション	
無記号	手動ノンロック	
M1	手動ロック	
N	ランプなし	
K	外部パイロット	
T	集中配線 (PFI)	
T1	集中配線 (PFI $\frac{1}{4}$)	
W	マスキングプレート	

2. 動作原理 (非通電時)

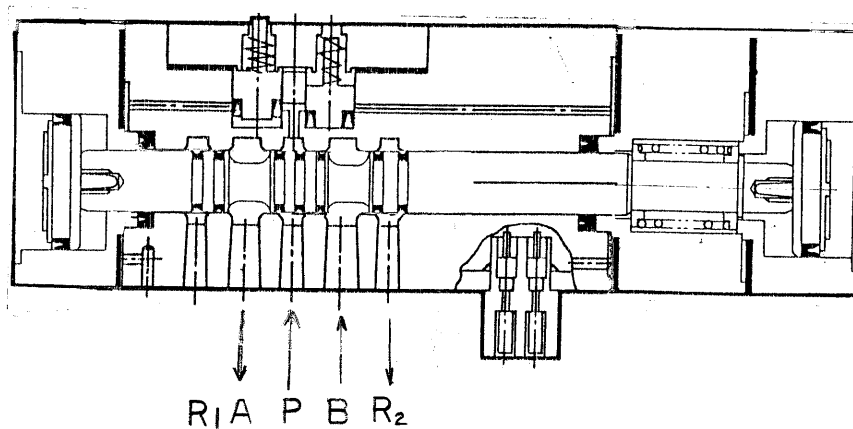
2 位置シングル (M4L310)



2 位置ダブル (M4L320)



3 位置クローズセンタ (M4L330)



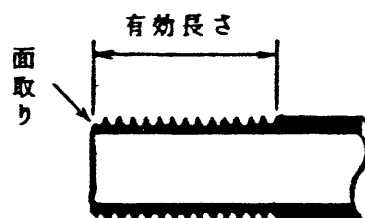
3. 使用上の注意

3-1 マニホールド使用上の注意

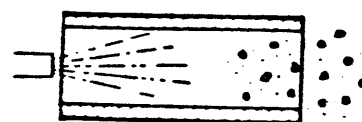
- (1) 同時に6連以上のバルブを作動させる場合、マニホールドブロックの両端よりS U P圧をとり、E X Hも両端共大気開放してください。
- (2) P（給気）ポート、R（排気）ポートは、マニホールドブロックの両端にそれぞれありますのでどちらからでも取出せます。
- (3) 3位置エキゾーストセンタ（4 L 3 4 0）をマニホールド化する場合、個別E X H（裏配管）でご使用ください。
（背圧によるとなりのシリンダの飛び出し防止）

3-2 配管時の注意事項

- (1) ガス管のネジ長さは有効ネジ長さを
守ってください。
また、ネジ部先端より半ピッチ程度は
面取り仕上げしてください。



- (2) 配管前に管内の異物・切粉等除去の
ため、フラッシングをしてください。



- (3) 配管を製品へ接続される場合、シール剤やシールテープ等が管内に入らないように、シール剤の量や塗布の位置また、シールテープの巻く位置に注意してください。



3-3 配線上の注意

- (1) 配線用電線は、公称断面積 0.5 mm^2 以上を使用してください。

D I N 端子箱付の場合は、公称断面積 $0.5 \sim 1.5 \text{ mm}^2$ のものを使用してください。また、防水性を要求される場合は、外径 $\phi 9, \phi 11$ 以下のキャブタイヤコードを使用してください。

- (2) 電気回路は、接点チャタリングの発生しないスイッチング回路を採用してください。

- (3) 電気回路には、ヒューズ (1 A) 等を入れてください。

- (4) 電圧は、定格電圧の $\pm 10\%$ 範囲以内で使用してください。

- (5) 無接点リレー回路を使用する場合は、漏洩電流に注意してください。

A C コイルは、定格電流の 15% 以下

D C コイルは、定格電流の 1% 以下

のスイッチを選定してください。

4. 保守・点検

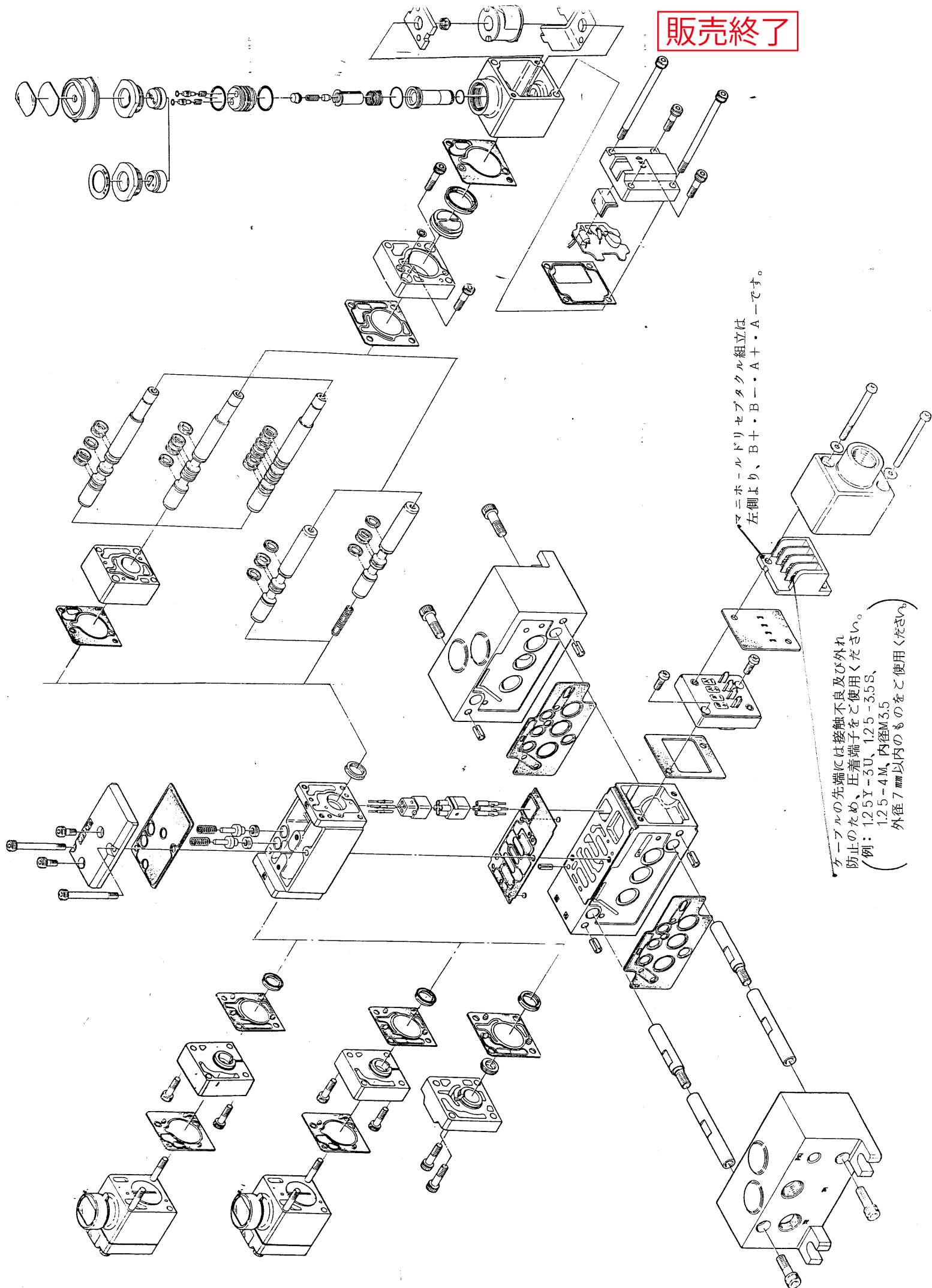
4-1 定期点検

- (1) 電磁弁を最適状態でご使用いただくために、1~2/年の定期点検を行なってください。

(2) 点検内容

- (a) 弁内部にゴミ・異物等が堆積していないか、また高粘性物質が付着していないかを確認してください。
異常であれば、分解掃除してください。

販売終了



ミニホルドリセパタクル組立は
左側より、B+B+A+A-Aです。

ケーブルの先端には接触不良及び外れ
防止のため、圧着端子をご使用ください。
(例: 1.25Y-3U、1.25-3.5S、
1.25-4M、内径M3.5
外径7mm以内のものをご使用ください。)